

## ATP依存性NAD(P)H-水和脱水酵素

Cat. No. EXWM-5077

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** 水和したNADHおよび水和したNADPHに $\square$ して同 $\square$ に作用します。NAD(P)Hは自発的に(6S)-および(6R)-異性体に水和し、これらはEC 5.1.99.6、NAD(P)H-水和エピメラーゼによって60:40の比率で相互 $\square$ 換されます。したがって、EC 4.2.1.93はEC 5.1.99.6と共に水和物の混合物をNAD(P)Hに $\square$ することができます。真核生物由来の酵素はADPに $\square$ して活性を持たず、細菌由来の酵素とは $\square$ 照的です (cf. EC 4.2.1.136、ADP依存性NAD(P)H-水和脱水酵素)。

**別名** 還元型ニコチンアミドアデニンジヌクレオチド水和物脱水酵素; ATP依存性H4NAD(P)+OH脱水酵素; (6S)- $\beta$ -6-ヒドロキシ-1,4,5,6-テトラヒドロニコチンアミド-アデニン-ジヌクレオチド水分解酵素(ATP水分解); (6S)-6- $\beta$ -ヒドロキシ-1,4,5,6-テトラヒドロニコチンアミド-アデニン-ジヌクレオチド水分解酵素 (ATP水分解; NADH生成)

### 製品情報

**形態** 液体または凍結乾燥粉末

**EC番号** EC 4.2.1.93

**CAS登録番号** 116669-08-0

**反応** (1)  $\text{ATP} + (\text{6S})\text{-6}\beta\text{-ヒドロキシ-1,4,5,6-テトラヒドロニコチンアミド-アデニン二ヌクレオチド} = \text{ADP} + \text{リン酸} + \text{NADH}$ ; (2)  $\text{ATP} + (\text{6S})\text{-6}\beta\text{-ヒドロキシ-1,4,5,6-テトラヒドロニコチンアミド-アデニン二ヌクレオチドリッ酸} = \text{ADP} + \text{リン酸} + \text{NADPH}$

**備考** このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5 $\square$ 9週間です。ご要望に $\square$ じてカスタム生産が可能です。

### 保管・発送情報

**保存方法** 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。